

# 令和6年度 浜松市立伎倍小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価結果及び考察

自己評価結果及び改善方策  
別紙のとおり

## 2 学校関係者評価

2月14日（金）に開催した学校運営協議会にて、自己評価結果、考察及び改善方法について学校運営協議会委員に報告。委員からは以下のような意見をいただいた。

- ・ 学校教育目標、学校運営基本方針が示され、学校運営協議会にて協議の上、学校の課題、目標について共有することができた。来年度のキーワードである「発信」については、子供たちはそれぞれ得意な発信の仕方があるので、幅広い方法で伝えられるようにしていただきたい。
- ・ 「めざす子供の姿」の3本柱は伸ばしてもらいたい。
- ・ 「自分のよさに気づき、伸ばそうとしていますか」の項目について評価が高く、学校生活がしっかりできていることは、良いことだと思う。
- ・ 「友達とのトラブルや困ったことなど、おうちの人や先生、友達などに相談しながら解決しようとしていますか」の項目について、保護者、職員共に90%の肯定的な評価をしているので安心した。
- ・ 「友達とのトラブルや困ったことなど、おうちの人や先生、友達などに相談しながら解決しようとしていますか」の項目について、38%の児童は、あまりそう思わない、17%の児童は全くそう思わないと回答している。全体の1割2割は、否定的な回答というのは、重く受け止めなくてはいけない。子供たちの心の中に秘めたものがあり、先生との差があるのではないか。
- ・ 伎倍小学校のいじめの実態について詳しく知りたい。

## 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 来年度のキーワードである「発信」については、子供たちはそれぞれ得意な発信の仕方を生かせるよう、幅広い発信の仕方を認め、必要に応じて教えて、選んで使えるような指導を行う。
- ・ 「友達とのトラブルや困ったことなど、おうちの人や先生、友達などに相談しながら解決しようとしていますか」の項目について、子供たちが自分だけで抱え込まないように、教師はアンテナを高くし、教員同士連携を図って対応していく。また、子供の悩みについて教員から見えない部分があるという危機感をもって対応にあたるようにする。
- ・ 学校のいじめの実態や対応について詳しく知りたいという意見を受け、生徒指導と連携し数値で示したり、対応について詳しく示したりして伝え方について検討を行うようにする。